

平成 24 年 12 月 18 日



ASIA COSMOPOLITAN AWARDS
【平城遷都 1300 年記念アジアコスモポリタン賞】
受賞記念「奈良フォーラム」において授賞式典を本日開催
～文化賞を受賞した漫画家の井上 雄彦氏ほか、受賞者の記念講演等を実施～

東アジア・アセアン経済研究センター (ERIA: Economic Research Institute for ASEAN and East Asia) ならびに奈良県は、平城遷都 1300 年記念アジアコスモポリタン賞受賞記念フォーラム「奈良フォーラム」において授賞式典を本日(12 月 18 日)、奈良県新公会堂(奈良県奈良市)で開催しました。

ASIA COSMOPOLITAN AWARDS は 2 年に一度、東アジア域内における経済面・文化面での地域統合、域内の格差是正、持続可能な成長社会形成を主眼に、質的に充実した東アジア共同体形成に資する優れた貢献を行った個人・団体に対し、国籍を問わず、贈呈される今回第 1 回となる新たな国際賞です。

本日の奈良フォーラムでは、授賞式典のほか、「大賞」受賞のスパチャイ・パニチャパック氏 (国連貿易開発会議事務局長)、「経済・社会科学賞」受賞のベネディクト・アンダーソン氏(米国コーネル大学名誉教授)、「文化賞」受賞の井上雄彦氏(漫画家)の各賞受賞者による講演、スリン・ピッスワン氏 (ASEAN 事務総長)と白石 隆氏 (日本貿易振興機構(ジェトロ)アジア経済研究所所長)による基調講演等が行われました。

なお、明日 19 日には、帝塚山大学 東生駒キャンパスにてスパチャイ・パニチャパック氏が、奈良女子大学にてベネディクト・アンダーソン氏が特別講義を行う教育プログラムを実施する予定です。

各賞受賞者のコメントは以下のとおりです。

◆ 「大賞」受賞者:スパチャイ・パニチャパック氏 (国連貿易開発会議(UNCTAD)事務局長)

「私にも、また同行の妻にも、人生で最も幸せな時間だ。この受賞が 25 年ぶりに奈良を訪れる機会になったことはとても感慨深い。私は仏教を学び、人生には何事にも意味があると考えている。我々は不完全で、それぞれの価値観も違うが、周囲の状況に流されることなく、互いに問いかけ、信頼を高めることでそれを補うことができる。私はかつて銀行家だったが、その業務は人を育てること、人と

人を繋げることだったと信じてきた。これからも専門である経済の分野、しかし常に人を繋げるという本質を忘れることなく、東アジア共同体の構築に力を尽くしたい。

◆ 「経済・社会科学賞」受賞者:ベネディクト・アンダーソン氏 (米国コーネル大学名誉教授)

「コスモポリタン」とは、かつては故国のために力を尽くさない、低級な異国趣味ともされた。しかし私は、それを改めて、「他国で過ごした経験を、世界への理解に変える人」と定義したい。私は4カ国で学び、時には国を追われたこともあったが、そうした体験が私をナショナリズム研究の道へ進ませた。故国への愛着は、世界に対する学びの扉でもある。それを私は伝えたい。

◆ 「文化賞」受賞者:井上雄彦氏 (日本漫画家)

漫画家の受賞は過分にも思えて、とても驚いているが光栄だ。漫画家は受け身の表現者で、海外で出会った子供たちから「スラムダンクを読んでいる」と聞かされ、意外なところで嬉しい思いをすることもあった。自分がコスモポリタンの名に値するかは分からないが、読者や鑑賞者と自分は、どこかで通じているはずだという思いはある。作品によっては説明を省き気味にしているものもあるが、人と人とが本来共有しているだろうものを心の底で信頼しながら、作品を作っている。

◆ 「メモラブル賞」受賞者: ハディ・スサストロ氏 (故人)(代理):

リザル・スクマ氏 (インドネシア戦略国際問題研究所(CSIS)所長)

本日の代理受賞は大変な光栄だ。私は故人に学んだ学生で、師が今日ここへ来られないことを残念に思う。師の業績が、こうして世界で認知されることは大きな喜びだ。師は東アジア全域の経済発展に貢献した偉大な人物だった。私自身は、師とは畑の違う防衛政策の専門家だが、師からは多くのことを学んだ。師が亡くなる2週間前に病院へ彼を見舞ったが、師は変わらず地域の経済協力について考えていた。師の偉業と理念を継いで、いかに東アジアの安定と発展に貢献するか、それが残された者の責務と信じる。

広報担当窓口:

岡崎 央 (Hiroshi Okasaki (Mr.))

Director, Public Relations

Tel: +62 21 5797 4460 Ext. 201

E-mail: hiroshi.okasaki@eria.org

Fitria Abuzah (Ms.)

Assistant, Public Relations

Tel: +62 21 5797 4460 Ext. 112

E-mail: fitria.abuzah@eria.org

Economic Research Institute for ASEAN and East Asia (ERIA): ERIA is an international organization that supports the ASEAN Secretariat by making policy recommendations at regional governmental meetings such as the East Asian Summit (EAS), aimed at furthering East Asia's economic integration.

Annex Office: Sentral Senayan 2, 6th Floor Jalan Asia Afrika No.8 Gelora Bung Karno – Senayan Jakarta Pusat 10270, Indonesia

<フォーラム内容>

1. 開催日: 平成 24 年 12 月 18 日(火)
2. 場所: 奈良県新公会堂(奈良県奈良市春日野町 101)
3. 主催: 東アジア・アセアン経済研究センター(ERIA)、奈良県
4. 出演者:
 - 大賞受賞者: スパチャイ・パニチャパック氏 (国連貿易開発会議(UNCTAD)事務局長)
 - 経済・社会科学賞受賞者: ベネディクト・アンダーソン氏(米国コーネル大学名誉教授)
 - 文化賞受賞者: 井上雄彦氏 (日本漫画家)
 - メモラブル賞受賞者(代理): リザル・スクマ氏 (インドネシア戦略国際問題研究所(CSIS)所長)
 - 祝辞: ノロドム・シリブッド氏(カンボジア協力平和研究所会長)
有馬 朗人氏(武蔵学園長)
 - 基調講演、その他講演者:
 - スリン・ピッサワン氏(ASEAN 事務総長)
 - ノロドム・シリブッド氏(カンボジア協力平和研究所会長)
 - 白石 隆氏 (日本貿易振興機構(ジェトロ)アジア経済研究所所長)
 - 荒井 正吾氏 (奈良県知事)
 - 西村 英俊 (東アジア・アセアン経済研究センター(ERIA)事務総長)

<アジアコスモポリタン賞について>

◆ 本賞設立の趣旨・背景

「世界の成長センター」として活発な経済成長を続ける東アジア地域では、アセアン(ASEAN・東南アジア諸国連合)を中心に、域内経済統合の動きが急速に進展しています。このような東アジア経済統合の動きの中で、東アジア・アセアン経済研究センター(ERIA)は、地域の課題分析、政策の立案及び提言等を行ってきました。

一方、2015 年までの構築が目指されている ASEAN 共同体は、政治、経済、文化の3つを柱にしています。これは、21 世紀型の共同体実現に向けて、経済面とともに域内格差や環境問題等に対して、アジア全体での政策協調が必要であること、また、文化面の多様性を考慮し、個性と独自性を活かした地域統合の模索が必要であることを意味しています。

このような状況を踏まえて ERIA はこれまでの活動に加え、平和で安定した東アジア全体の発展に一層貢献する取り組みを進めることが必要であると認識し、2010 年、奈良で開催した「ERIA リージョナルネットワークフォーラム」を契機として、東アジアにおけるコスモポリタン都市の先駆けであった奈良・平城京への遷都 1300 年を記念し、東アジア域内における経済面・文化面での地域統合、域内の格差是正、持続可能な成長社会形成を主眼に、質的に充実した東アジア共同体形成に資する優れた活動を行った個人・団体を、国際的に評価顕彰することを目的として、ASIA COSMOPOLITAN AWARDS (平城遷都 1300 年記念アジアコスモポリタン賞)を創設することとしました。本賞は、国籍を問わず、本賞発案の地、奈良県において 2 年に 1 回、贈呈するものです。

◆ 本賞の概要・種類

ASIA COSMOPOLITAN AWARDS には、大賞、経済・社会科学賞及び文化賞の3つの賞があります。なお、追加の賞を設置する場合があります。各賞の授賞対象者は、以下のとおりとなります。

大賞

経済・社会科学または文化の分野から最も顕著な功績のあった個人または団体に授与されます。

経済・社会科学賞

経済に関する学術研究、ビジネスモデル、産業技術、消費活動、安全保障、社会保障、政治学、哲学、その他社会科学全般において、優れた成果により、アジアにおける経済・社会科学面の育成、発展に貢献した個人または団体に授与されます。

文化賞

芸術、文学、コンテンツ、その他文化に関する学術研究等において、優れた成果により、アジアにおける文化面の育成、発展に貢献した個人または団体に授与されます。

<第1回アジアコスモポリタン賞受賞者について>

◆ 大賞



スパチャイ・パニチャパック (Supachai Panitchpakdi) 氏

タイ国籍。2005年9月より国連貿易開発会議(UNCTAD)事務局長(現在2期目)を務める。2002年から2005年までアジア人として初めて世界貿易機関(WTO)事務局長を、また、それ以前は母国タイで副首相、商業大臣を務めた経験を持つ。経済と貿易の政策策定に従事し、アジアにおける協定構築において大きく貢献した。また、カンボジア、ラオス、ミャンマーのASEAN加盟に対して尽力するとともに、ASEANの世界経済における役割の向上に顕著な貢献を行った。

◆ 経済・社会科学賞



ベネディクト・アンダーソン (Benedict Anderson) 氏

中国・昆明生まれ。米国コーネル大学名誉教授ケンブリッジ大学で古典学の学士号、1967年コーネル大学大学院政治学研究科博士号取得。東南アジア地域研究者。特にインドネシア、タイ、フィリピンの各国の政治・文化研究における権威であり、これらの国の多数の著書がある。1983年の著書「想像の共同体—ナショナリズムの起源と流行」が最もよく知られ34言語に翻訳されている。

◆ 文化賞



井上 雄彦 (いのうえ たけひこ) 氏

代表作に国内発行部数一億部を突破した「スラムダンク」、連載中の「リアル」、「バガボンド」がある。文化庁芸術選奨新人賞など受賞多数。美術館全体を使った「井上雄彦 最後のマンガ展」、真宗大谷派東本願寺へ描き下ろした屏風絵「親鸞」の制作など、これまでの枠を超えた活動も反響を呼んでいる。

◆ メモラブル賞(特別賞)



故ハディ・スサストロ (The late Hadi Soesastro) 氏

インドネシアのエコノミスト。インドネシア戦略国際研究所の創設者の一人であり、同所元所長。1999年から2000年までの間、インドネシア大統領の経済顧問を務め、また、世界銀行およびアジア開発銀行の顧問としても活躍した。アジア地域における著名な学者、知識人であり、インドネシアの経済のみならず、ASEAN経済共同体の形成の中心人物として、多くの地域機関・制度の構築活動に数多く関与した。